

会計管理者組織

令和元年度重点目標

- 1 財務・会計事務の適正化と事務能力の向上
- 2 適正な公金管理等の指導と収納事務効率化に向けた取組

| 重点目標 | 財務・会計事務の適正化と事務能力の向上 | | | 部局名 | 会計管理者 | 優先順位 | 1位 |
|---------------------------------|---|---------------------|--------------------|---|---|------|----|
| 総合計画における 位置付け | 第1編 コミュニティー・自治 第2章 分権自治を確立するために 第2節 機敏に対応できる効率的な行政組織にする | | | まち・ひと・しごと創生総合 戦略における位置付け | 戦略 施策体系 | | |
| 第三次上田市行政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け | | | | 上田再構築プラン「7 つの挑戦」における位 置付け | | | |
| 現況・ 課題 | <ul style="list-style-type: none"> 行政が市民サービスを提供するには、常に予算の執行が伴い、財務・会計事務を適正かつ正確、円滑に行っていくことは、事務事業の効率化につながっている。 財務・会計事務担当者は、効率的な財務・会計事務の確立及び向上を図るため、平成19年度に財務規則取扱規程の改正により各課におかれたもので、財務・会計事務の指導及び改善について、他の職員を指揮する権限がある。 そのため、財務・会計事務担当者の資質向上や課所内でのチェック体制の強化を図り、実務担当者の事務能力の向上につながる取り組みが必要となっている。 | | | | | | |
| 目的・ 効果 | <ul style="list-style-type: none"> 財務会計事務について事務処理の方法の周知や指導、研修会を行うことで、財務・会計事務担当者及び実務担当者の能力が向上と事務事業の処理の効率化を図ります。 財務・会計事務担当者の資質向上と課所内でのチェック体制の強化により、適正な財務会計事務の確立と効率的な運用を図ります。 | | | | | | |
| | 取組項目及び方法・手段（何をどのように） | 期間・期限 （いつ・いつまでに） | 数値目標（どの水準まで） | 中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度） | 期末報告（目標に対する達成状況・達成度） | | |
| ① | ○財務・会計事務担当者の事務能力及び指導力の向上 ・財務・事務会計担当者の役割の明確化、財務・会計事務マニュアルの検討 ・財務・会計事務担当者研修会の開催及びそれらに対する指導 | ・ 通年 | ・ 研修会80人程度を予定 | ・ 7/30 財務・会計事務担当者研修会を開催 出席者：71人 財務・会計事務担当者の役割について、具体的に示した。 | ・ 目標どおり達成 | | |
| ② | ○財務会計事務の研修会の開催 ・新任会計事務担当者研修会の開催 ・財務会計システム研修会の開催 ・新人研修会の開催 ・その他研修会の実施（随時） | ・ 5、6、1月等 | ・ 各研修20人から50人程度を予定 | ・ 5/30 財務会計システム操作研修会を開催 出席者：21人（保育園・学校事務者等） ・ 6/4 新任会計事務担当者研修会を開催 出席者：32人 ・ 8/28 新規採用職員研修で財務会計実務講習を実施 出席者：68人 | ・ 1/16 初級職員研修で財務会計実務講習を実施 出席者：22人 ・ 目標どおり達成 | | |
| ③ | ○正確な帳票作成のため適正帳票率を調査 ・不備率調査の実施 ・不備率調査結果の周知と指導の実施 | ・ 6月、10月、1月 | ・ 適正帳票率 96% | ・ 第1回（6月）不備率調査を実施 適正帳票率：94.3% | ・ 第2回（9月）不備率調査を実施 適正帳票率：95.4% ・ 第3回（1月）不備率調査を実施 適正帳票率：94.7% ・ 目標どおり概ね達成 | | |
| ④ | ○赤伝の有効活用の周知徹底 | ・ 通年 | | ・ 予定通り | ・ 目標どおり達成 | | |
| ⑤ | ○正確な収入支出報告書の提出について指導 | ・ 通年 | | ・ 予定通り | ・ 目標どおり達成 | | |
| 特記事項 | ○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点 | | | ○取組による効果・残された課題 | | | |

| 重点目標 | 適正な公金管理等の指導と収納業務効率化に向けた取組 | | | 部局名 | 会計管理者 | 優先順位 | 2位 |
|----------------------------------|---|---------------------|--|--|--|----------|----|
| 総合計画における 位置付け | 第1編 コミュニティー・自治 第2章 分権自治を確立するために 第2節 機敏に対応できる効率的な行政組織にする | | | まち・ひと・しごと創生総合 戦略における位置付け | 戦略 施策体系 | | |
| 第三次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け | | | | 上田再構築プラン「7 つの挑戦」における位 置付け | | | |
| 現況・ 課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・公金を取扱う課所・職員は常に緊張感を持って、正確かつ適正な管理に取り組まなければならないが、人事異動等による職員の交代などにより、適正な事務が確実に引き継がれるか課題となっている。 ・市の資金を安全かつ確実に運用するため、預け入れ先である指定金融機関等の経営状況等を把握する必要がある。 ・金融機関等の窓口で収納された納付書の仕分け作業やシステム入力作業などの手作業の業務を見直し、電子マネー等での納付対応についても検討する必要がある。 | | | | | | |
| 目的・ 効果 | <ul style="list-style-type: none"> ・現金を取扱う課所について、継続的に実地検査することにより、職員の自覚を促して公金の管理適正化を期するとともに、人事異動等に伴う適正事務の維持・継続への影響を最小化します。 ・公金の収納を委託している団体や市職員が取り扱っている任意団体についても、継続的に実地検査を実施し、会計事務の適正化及び事故防止を図ります。 ・指定金融機関等の経営状況等を把握することで、市の資金を安全かつ確実に運用することができます。 ・金融機関等の窓口で収納された納付書の仕分け作業やシステム入力作業などの業務を民間委託することで効率化を図り、また、新たな収納チャネルが追加された場合の対応について検討します。 | | | | | | |
| | 取組項目及び方法・手段（何をどのように） | 期間・期限 (いつ・いつまでに) | 数値目標（どの水準まで） | 中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度） | 期末報告（目標に対する達成状況・達成度） | | |
| ① | ○市内金融機関に対する経営状況等に関するヒアリングの実施 | ・8月 | ・6機関 | <ul style="list-style-type: none"> ・6/26～7/12 市内6金融機関に経営状況等の書面調査を実施 ・8/23 書面検査の結果、市内3金融機関のヒアリングを実施 | ・目標どおり達成 | | |
| ② ③ | ○現金取扱課所への実地調査 ○職員が取扱う任意団体への実地検査 | ・9月～11月 | <ul style="list-style-type: none"> ・40課所程度 ・10団体程度 | ・10月から実施予定 | <ul style="list-style-type: none"> ・10/2から11/21まで現金実地検査（40課所） ・現金実地検査とともに重要物品の現物調査（17課所） ・現金実地検査とともに任意団体への実地検査（9団体） | ・目標どおり達成 | |
| ④ | ○収納事務の委託を受けた団体及び担当課所への実地調査 | ・11月～12月 | ・5団体程度 | ・10月から実施予定 | <ul style="list-style-type: none"> ・10/8から11/18まで実地検査（5団体） | ・目標どおり達成 | |
| ⑤ | ○指定金融機関等の実地検査 | ・1月～2月 | ・3機関程度 | ・1月から2月に実施予定 | <ul style="list-style-type: none"> ・1/20から1/23まで書面検査（42店舗） ・2/21から2/26まで実地検査（3店舗） | ・目標どおり達成 | |
| ⑥ | ○公金収納業務の委託導入を検討 ・他市の導入状況を調査 ・関係部署からの意見を集約 | ・通年 | | <ul style="list-style-type: none"> ・5/21 事業概要説明会を開催（八十二銀行、三菱UFJ銀行、庁内関係部署） ・8/5 導入に向けて実施計画に計上 ・8/6 松本市へ先進地視察 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度当初予算（債務負担）に導入費用を計上 令和3年10月からの導入が決定 ・2/12 収納対策推進委員会で事業説明（八十二銀行、三菱UFJ銀行、庁内関係部署） | ・目標どおり達成 | |
| 特記事項 | ○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点 | | | ○取組による効果・残された課題 | | | |